

参加費

会 員	4,000円
非会員	5,000円
神学生・学生	2,000円

※申込者には、後日講演動画を
アーカイブ配信します。

特設 HP & 申し込み

下記QRコード (<https://evangelical-theology.kyokai.jp/>) から、お申込ください。



申込締切：2024年11月15日(木)

各部会事務所

- 西部部会 〒651-0052
神戸市中央区中島通2-3-5
神戸ルーテル神学校内
- 中部部会 〒480-0305
春日井市坂下町5-1215-480
春日井栄光キリスト教会内
- 東部部会 〒270-1347
千葉県印西市内野3-301-5
東京基督教大学内

お問い合わせ

第17回全国研究会議実行委員会
jetseshoki@gmail.com

『平和』

日本福音主義神学会
第17回全国研究会議

2024年11月18日(月)～20日(水)

オンライン開催

協賛：いのちのことば社／クリスチャン新聞

全国研究会へのお招き

私たち日本福音主義神学会では、3年に一度、東部・中部・西部の3部会が集まって全国研究会議を開催しています。2021年に開催された第16回全国研究会議から3年の間に、国際情勢は急速に変化してきました。2022年2月に開始されたロシアによるウクライナへの軍事侵襲、また2023年10月に始まったパレスチナ・イスラエル戦争は、改めて平和の大切さとそれを達成・維持する難しさを国際社会に突きつけました。キリスト教会においても、たとえばパレスチナ情勢に関連して、聖書における神の民「イスラエル」と現代の「イスラエル国」の関係をどう考えるか、イスラエル国政府の軍事行動をどう評価するか、多様な意見があるのが現実です。

そのような状況を受けて、福音主義神学会としても平和問題に取り組むことが喫緊の神学的課題であると受け止め、第17回全国研究会議のテーマを「平和」と決めました。しかし、今回取り上げるのは戦争の問題だけではありません。聖書における「平和」（ヘブル語でシャローム）は、単に争いや対立がない状態を指すだけでなく、神からの祝福によって与えられる完全性、健康、安全、繁栄、幸福、救い等を包含する幅広い概念です。そこで今回の全国研究会議では、「教会」「社会」「被造物世界」という3つの領域で平和の問題を議論し、キリスト教会の果たすべき役割について考えていきたいと願っています。

今回の全国研究会議は前回に引き続き完全オンラインの形式で開催します。海外からも講師をお招きしています。全国どこからでも、あるいは海外からでも、物理的な距離に制約されずにご参加いただけますので、ぜひ一緒に平和について学び、考え、議論していきましょう。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

全国研究会議実行委員長
東部部会理事長
山崎ランサム和彦

プログラム

11月18日（月）

17:30-18:00 開会礼拝
山崎ランサム和彦（東部・聖契神学校）

18:00-20:00 セッション(1)
「被造物世界と平和」

11月19日（火）

13:00-14:00 分科会(1)「被造物」

14:30-15:30 分科会(2)「社会」

16:00-17:00 分科会(3)「教会」

18:00-20:00 セッション(2)
「社会と平和」

11月20日（水）

9:30-11:30 セッション(3)
「教会と平和」

11:30-12:00 閉会礼拝
坂井純人（西部・神戸神学館）

講演者

セッション

(1) 「被造物世界と平和」

講演題：「被造物との和解」
講演：Dave Bookless
(クリスチャン環境団体「ア・ロシヤ」代表
／ローザンヌ運動/世界福音同盟・被造物
ケア・ネットワーク・共同リーダー)
応答：中澤啓介（東部・大野キリスト教会）

(2) 「社会と平和」

講演題：「平和の福音に生きる
～キリスト者の社会的使命」
講演：吉田隆（西部・神戸改革派神学校）
応答：柳沢美登里（東部・「声なき者の友」の輪）

(3) 「教会と平和」

講演題：「社会の縮図・被造物世界回復の先取り
としての教会」
講演：河野克也（東部・東京神学大学）
応答：関昌宏（中部・チャーチ・オブ・ゴッド）

分科会

(1) 「被造物」

主題：「被造物世界と平和
～被造物ケアの聖書的視点から」
発題者：小川真（東部・国立キリスト教会）

(2) 「社会」

主題：「社会と赦し：ミロスラブ・ヴォルフの
拒絶と抱擁の神学と平和」
発題者：岡谷和作（東部・ダラム大学博士課程）

(3) 「教会」

主題：「教会と平和」
発題者：南野浩則（西部・福音聖書神学校）

※ 各講演タイトルは変更となる場合があります。
最新情報はホームページにてご確認ください。